

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)海老名市中野2丁目PJ A棟新築工事	階数	地上2F
建設地	海老名市中野二丁目680番1	構造	S造
用途地域	準工業地域、防火地域指定なし	平均居住人員	30人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2022年8月26日
敷地面積	3,589 m <sup>2</sup>	作成者	大和ハウス工業(株)関東横浜流通一級建築士事務所
建築面積	2,009 m <sup>2</sup>	確認日	2022年8月26日
延床面積	3,993 m <sup>2</sup>	確認者	大和ハウス工業(株)関東横浜流通一級建築士事務所

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE=1.0 (3 Stars)

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100%  
②建築物の取組み: 82%  
③上記+②以外の: 82%  
④上記+: 82%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.6

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.7

### LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.4

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

### 3 設計上の配慮事項

総合 横浜線淵野辺駅から徒歩10分の準工業地域、防火地域指定なしに、工場用途のS造・2Fの建物を計画した。	その他 特になし
Q1 室内環境 建築材料は、JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	Q2 サービス性能 事務所の天井高さは、2.7m以上と設定している。
Q3 室外環境 (敷地内) 0	
LR1 エネルギー BPIm0.85、BEIm0.65、LED照明設備を導入している。	LR2 資源・マテリアル 壁・天井とも躯体と仕上材が分別可能となっている。
	LR3 敷地外環境 LCCO <sub>2</sub> 排出率=82%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される